学校だより
高松小学校
3月

たかひば

～ひばりのように高く舞い上がれ～

令和７年2月 28日

徳より陰徳　見返りも比べることもない努力を

校長　山﨑　勝則

令和６年度も最後の月となりました。この１年間、多くの子ども達の成長を目の当たりにし、なかなか成長しない自分と比べ、子ども達のすごさをひしひしと感じさせられました。

３月は「卒業式」という大きな節目の行事を控えており、６年生がいなくなるさみしさや不安を実感する月でもあります。

先日の「６年生を送る会」では、今年度お世話になった見守り隊の方々やゲストティーチャーをお迎えして、各学年の発表を見ることができました。それぞれ趣向を凝らし、持ち味を生かした発表で、６年生への感謝の気持ちが伝わってきました。

今年度から始めた「たかひばカード」は、２月２６日時点で通算１１３９枚、２月いっぱいで今年度は終了します。１枚に１０のがんばりがあると考えると、高松小学校全体で１万をこえるがんばりがあったことになります。すごいことですよね。

さて、みなさんは「陰徳」という言葉を知っていますか。「徳」とは「広く他に及ぼす望ましい態度」、簡単に言うと「人のためになること」です。そこに「陰」がつくと「ひとにはわからない」とか「こっそり」という意味合いが付け加わります。

３月は、他人のいいところを奪い取る「ブラックタカヒバ」ではなく、見返りを求めず、他と比べず、ただひたすら純粋に高く舞い上がるよう努力する「ピュアたかひば（陰たかひば）」を目指す月にしてほしいと願っています。そして、ハンコやシールの代わりに「〇〇さん、いいね～👍」サインを出し合いましょう。

誰かの元気なあいさつから図書カードの寄附が

学校の近くに住む、今　明恵さん　より、新聞投稿等で頂いた謝礼から図書カードを寄附していただきました。

寄附のきっかけは、何と子どもたちの元気なあいさつ。今さんがおっしゃるには、日頃から高松小の子ども達から明るく元気なあいさつをもらい勇気づけられているので恩返しをしたいとのこと。寄附いただいたことの感謝はもちろん、高松っ子の元気なあいさつが学校だけでなく地域にも広がっていることがとてもうれしかったです。

２階の放送室前にも、日頃から歩道をきれいにしてくださっているご夫婦よりいただいた、高松地区の歴史についての掲示がされています。感謝とともに、みなさんが地域に貢献している証として、誇らしさも感じています。